

# 「群馬県昭和村との友好交流補助金」 募集案内

## 🍎 目的 🍎

横浜市の施設である「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」（旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」）を昭和47年に昭和村に開設して以来、横浜市と群馬県昭和村は、半世紀に渡り交流を続けています。平成25年には「友好・交流に関する協定書」を締結し、市民と村民の活発な交流等が行われるよう取組を進めています。

この補助金は、市民と村民の交流・研修活動を支援することで、横浜市と昭和村の友好交流を促進することを目的としています。

## 🍎 対象団体 🍎

10人以上が参加して横浜市を拠点に公共的又は公益的な活動を行う団体

例：町内会、公園愛護会、青少年指導員協議会、ボランティア団体など

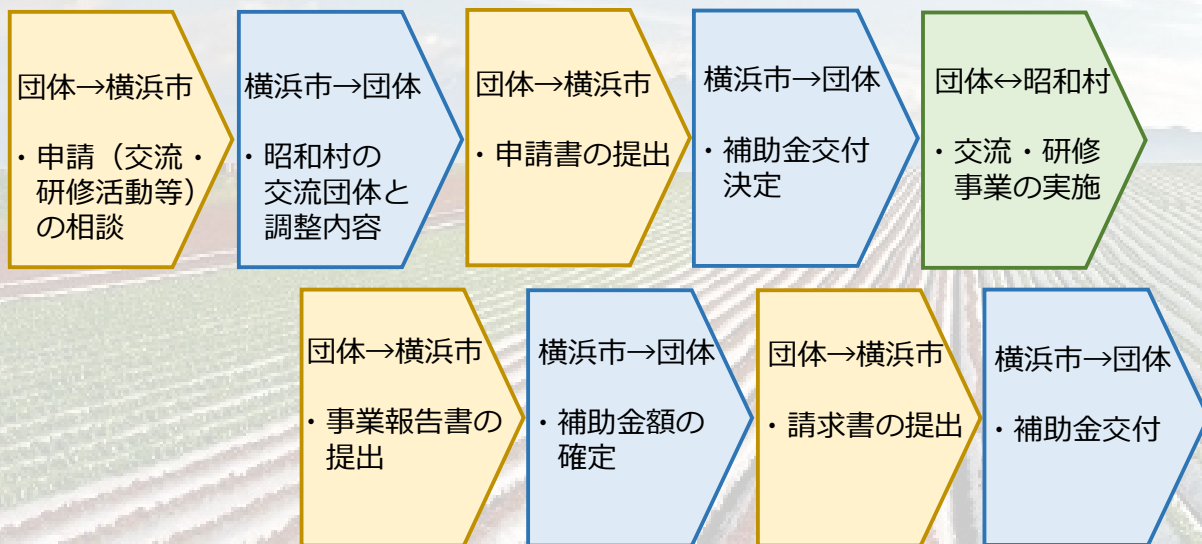
## 🍎 対象事業 🍎

対象団体の活動（例えば、環境美化、青少年健全育成など）と類似の活動を行う、昭和村民との交流、かつ、活動に関する研修事業で、昭和村又は横浜市において行う事業

## 🍎 対象経費 🍎

20万円まで

## 🍎 補助金交付の流れ 🍎



※通年で募集していますが、気候等を鑑み、昭和村での交流・研修事業は10月末頃までに実施することをお勧めします。また、年度内に事業報告を行う必要があります。

※交流団体や研修内容のご相談等、裏面の問合せ先にお気軽にご連絡ください。





## 🍎 横浜市と昭和村 🍎

横浜市の施設である「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」（旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」）を昭和47年に昭和村に開設して以来、昭和村と横浜市は半世紀に渡り交流を行っています。

群馬県昭和村は、赤城山北西麓に東西10.8km、南北9.8kmの扇状に広がる村であり、標高は260mから1,461mですが500mから800m付近まではゆるい傾斜をなし、赤城高原を形成しています。

日本一の生産量を誇る「こんにゃく芋」やレタス・キャベツといった「高原野菜」の産地であり、首都圏の台所としての役割を担っている「やさい王国」です。

横浜市と昭和村は、平成17(2005)年に「災害時における相互応援に関する協定」を、平成25(2013)年には「友好・交流に関する協定」を結び、交流を進めています。

横浜市の小学校・中学校・高等学校では、修学旅行や宿泊体験学習として、毎年40～50校、延べ2万人を超える児童・生徒が「赤城林間学園」を訪れています。



赤城山と昭和村



こんにゃく芋の生産量日本一！



横浜市民と昭和村民の交流のようす



問合せ先 横浜市政策経営局広域行政課  
Tel: 045-671-4082 Fax: 045-663-6561  
E-Mail: [ss-kouryu@city.yokohama.lg.jp](mailto:ss-kouryu@city.yokohama.lg.jp)

